

2020年10月28日

株式会社 山陰合同銀行

## 「ごうぎんSDGs私募債」の取扱開始について

山陰合同銀行（頭取 山崎 徹）では、新たに「ごうぎんSDGs私募債」の取り扱いを開始しますのでお知らせいたします。

当行は、これまで私募債発行を通じて企業の社会貢献活動の側面支援を行ってまいりましたが、SDGsの目標達成まで残り10年を機に、既存の私募債商品をSDGsの観点で整理し、「ごうぎんSDGs私募債」として取り扱いを開始いたします。

本商品を通して、持続可能な社会の実現に資する活動および社会貢献活動の側面支援を行い、お取引先とともにSDGsの目標達成に資する取り組みを行っていくことを目的としております。

併せて、新型コロナウイルス対策として山陰両県外の感染症指定医療機関の支援を目的に、医療機関寄贈型の商品を追加いたしました。

なお、山陰両県については、2020年10月に取扱開始した「地域おこし型（山陰両県）」にて、地域医療の支援を実施しています。

当行は、本商品を通じて多様な資金調達ニーズに応えるとともに、今後もお取引先とともに持続可能な社会づくりを目指してまいります。

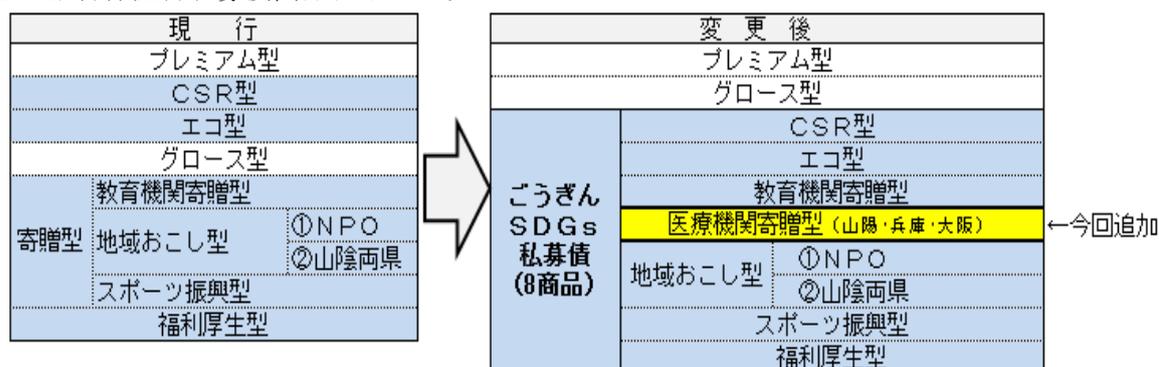
### 記

#### 1. 特長

SDGs 17の目標達成のための課題を、ウェディングケーキモデル（※1）により「経済」「社会」「生態圏」の3側面に分類。

それらの課題解決に向け、持続可能な社会の実現につながる取り組みをより幅広く支援することが可能。（※1）別紙参照

#### 2. 銀行保証付私募債商品ラインナップ



#### 3. 取扱開始時期

2020年11月発行分から

以 上

山陰合同銀行グループは、国連の定めた持続可能な開発目標（SDGs）の趣旨に賛同し、地域の課題解決に取り組むことで、持続可能な地域社会の実現を目指します。

※SDGs(Sustainable Development Goalsの略)：2015年9月の総会決議で国連加盟国が採択した、2030年までに達成を目指す17の持続可能な開発目標と、これを達成するための169のターゲットのこと。



# ごうぎんSDGs私募債 ウェディングケーキモデルによる分類表

ウェディングケーキモデル<sup>(※1)</sup>による「経済」「社会」「生態圏」の3側面の課題を、総合的に支援可能な商品

SDGsウェディングケーキモデルは、SDGsの目標17(パートナーシップで目標を達成しよう)をケーキの頂点として、その下にある3つの階層「経済」「社会」「生態圏」によって構成されています。この3つの階層の並び方はそれぞれ意味があり、「経済」の発展は、生活や教育などの社会条件によって成り立ち、「社会」は最下層の「生態圏」、つまりは人々が生活するために必要な自然の環境によって支えられていることを表しています。

